仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)										
事業名 高齢者生きがい活動通所支援事業 実施計画事業   実施計画事業   市長公約   4-⑥   総合戦略							該当なし			
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	報									
	部	健康医療部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
	課	いきいき高齢	課	高齢者生きがい通所支援事	予算	款	3	新規or継続	継続	事業
	係	高齢福祉係		業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	中華業
,	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的	勺事業
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	- 佐野市高齢者生きがい活動 :	事業	開始年度	H13年	実施方法	一部	委託
TXXX ATXI	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり	支援通所事業実施要綱		終了年度	-	事業分類	支援	事業
	施策	1	豊かで健やかな長寿社会の実現	义]及旭川学来大池安侧						
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値         (1) 事業概要										
14 辛积 44		らりがちな高齢 cを目的とする。	者に対し、通所の場を設けて各種サービスな	を提供することにより、社会的孤	立感の角	解消、自立:	生活の助長	及び要介	護状態にな	ることの予

(2)目的

(3)目標値

ı	目的	
I	(本事業に	自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ることを目
ı	よって成し	的とする。生きがいを持って生活をしてもらうとともに多様な社会活動
ı	遂げたい	に参加してもらう。
ı	状態)	> /2//

<b>郊果指標</b>	甲位	R3	R4	R5	R6	R/
事業参加人数	人	1,600	1,800	2,000	2,200	2,400

# 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績 (R5年度に 行った主な活	•	事業参加人数	人	1,469	1,853	2,321
	常盤地区公民館、氷室地区公民館、会沢地区コミュニティセンター)で実施している。地区社協、社協に事業委託しており、教養					
	講座やスポーツ活動、創作活動、趣味活動、介護予防、健康づくり					
	等の事業を展開する。 実施回数は、週1回程度となっている。	事業費計	千円	3,999	4,471	4,826
		一般財源	千円	1,605	1,731	2,734
		特定財源(国·県·他)	千円	2,394	2,739	2,093
		(うち受益者負担)	十円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 定性)

参加人数を増加させることができた。高齢者に対し、通所の場を設 けて各種サービスを提供することにより、社会参加を促進し、社会 な孤独感の解消、自立した生活を推進することができた。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
亞	事業参加人数	人	1,469	1,853	2,321	値が大きいほど良い	効果が上がった	
畝								
ደዋን								

# (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した				
効果	効果が上がった指標数	1指標				
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
指標值増減)	指標全体	効果が上がった				

※10万円以上の増減により判1
-----------------

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	$\cap$		

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

地域でのボランティアの参加や介護予防事業などと連携が図られており、コロナ禍も落ち着き、利用人数は増加しており、一定の成果は出ている。 現状の委託方法ではこれ以上コスト削減はできないが、一般介護予防事業に移行することで、一般財源を削減することができる。

(2)	上記反省占及び課題を踏まえた.	会和6年度及び会和7年度の	取組

V	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなと	
	事業効甲を Fげるt	- めの事務み等の検討	

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

Ħ	ⅳ紅	景	田田
- 4	以小仁	ᄓᄱ	ιчл

般介護予防事業に移行するためには、実施団体の理解を得る必要がある。

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

1. 基本情報	<b></b> 1117 <b>-</b> -				1				I		I		
1. 基本情報	事業名	局齢者3	Eきかい工	房連宮事業	実施計画事業or一般事業								
日当地議   市	4 <b>甘</b> + 4	<b>±</b> ±₽			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし		
国語問題   東			海南医病如		<b>又</b> 笞巾吏 <b>兴</b> 力		∆≡∔		車無計型	出左庇	名ので		
係				<b>≣</b> 里	了异 <b>中</b> 争未石	<b>文</b> 質							
検索  下   331   全称   技術的   技術的   技術的   技術的   大名田   3   動物の使用   技術的   技術的   対象   対象   対象   対象   対象   対象   対象   対				-1-	高齢者生きがい工房運営事業			_					
基本日標   3 使からて売なた着かけるまち20   佐野市高齢省まきが、工房   大田   一部学が到   新聞からい生きが、を実施できまちての   本門   一部学が多年者社会の実施   1 世が、日本   日からい生きが、生産者社会の実施   1 世が、日本   日からい生きが、日本   日からいままが、日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本					根拠法令 条例等	171		_					
放展   3					(1)人(1)人(A)人(A)	車業		_					
通数   当かで性でかな長寿社会の実現   条件が、旧地にで発展   1 書かで性でかな長寿社会の実現   条件が、旧からにより、	100年11天公							1 /3% 3 +					
2. 事業機要と目的及び (基本計画期間内) 目標値 (1) 事業概要 需素部要					- 条例、同施行規則	נחונאי	心了十段		于未力效	刀匠口又小庄」八	日生于未		
自由	(1)事業	美概要			養活動の場として設置された、高	高齢者生	Eきがい工房の	維持管理を	を行う。				
自由	(2)目的	<u> </u>			 (3)目標値								
日前	\= / HF	-				単位	R3	R4	R5	R6	R7		
持管理を行い、高齢者の生きがいと趣味活動・社会参加を促進するため、各種の   大変・		6 TT - +1 -											
3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移 (3) 活動実績 高齢者の生きが、と地味活動・社会参加を促進するため、各種の 教養活動の場として設備された高齢者生きが、工房の維持管理を 事業費計 千円 803 805 926 行うた。	(A-A-X-IC												
3. 前年度の実績 (活動及び費用対効果) 説明 (1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移 (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移 (3) 活動による効果 (3) 活動にして設置された局齢者生きがい工房の維持管理を (7) 方た。 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 (7) 方の表話動の場として設置された局齢者生きがい工房の維持管理を (7) 方である (4) 事業効果を説明する数値データの推移 (7) 方の表話者負担 千円 803 805 926 特定財際 (国・県・他) 71.2 73.9 74.8 歴史の記述 (定置及び 定性) (7) 月間 20 73.9 74.8 歴史の記述 (2) 上記校との会に対している高齢者の割合は若干培加したが、利用回教、利用を表が減少傾向にあり、利用回体は1回体のみとなっている。 第四 (7) 73.9 74.8 歴史の記述 (2) 1 指標 20 73.9 74.8 歴史の記述 (2) 1 指標を 74 73.9 74.8 歴史の記述 (2) 1 指標を 74 73.9 74.8 歴史の記述 (2) 1 計構を 74 73.9 74.8 歴史の記述 (2) 1 計構を 74 74 74 74 74 74 74 74 74 74 74 74 74			「い、 局断石の	生さかいと趣味活動・社会参加を促進9									
3. 前年度の実括(活動及び費用対効果)説明 (1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値データ及び事業機の推移 (3) 活動実績 高齢者の生きがした趣味活動・社会参加を促進するため、各種の教養活動の場として設高された高齢者生きかい工房の維持管理を行った。 (5) 要用分別の関係では、1年 803 805 926 125 145 142 145 142 146 146 146 146 146 146 146 146 146 146		<b>ි</b> ං											
(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移	<i>5</i> ,												
(85 年8년) 別用名数が減少傾向にあり、利用団体は1団体のみとなっている。			舌動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	事業費の推移	2		,			
活動実績 高齢者の生きがいと趣味活動・社会参加を促進するため、各種の教養活動の場として設置された高齢者生きがい工房の維持管理を					活動指標	単位	R3	R4	R5				
活動実績 高齢者の生きがいと趣味活動・社会参加を促進するため、各種の教養活動の場として設置された高齢者生きがい工房の維持管理を					生きがい工房の利用冋数		125	145	142				
活動実績 (R5 年度に 教養活動の場として設置された高齢者生きがい工房の維持管理を 事業費計 干円 803 805 926 分表 15 年度の関係 2 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 (R5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 (C2 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6 年度及び令和7 年度の取組 (C3 上記反復点及び課題を踏まえた、令和6 年度及び令和7 年度の取組 (C3 上記反復点及び課題を踏まえた、令和6 年度及び令和7 年度の取組 (C3 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6 年度及び令和7 年度の取組 (C4 ) 年間 (C4 上記 反 (C4 ) 年間 (C4 上記 反 (C4 ) 年間 (C4	/D 5 年度に												
(R5年度) 教養活動の場として設置された高齢者生きがい工房の維持管理を		= 150 +2 = 4			利用者延べ人数	人	/44	923	451				
行った。													
17.7cs	行った主な活		場としく設直	された高断有生さかい上房の維持官理を	事業費計	千円	803	805	926	1			
特定財源(国・県・他) 千円   (3) 活動による効果	動内容)	<b>行つた。</b>			6ル日十八古					Î			
(3) 活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移					一板約線	十円	803	805	926				
(4) 事業効果を説明する数値データの推移 <u> </u>					特定財源(国·県·他)	千円							
(4) 事業効果を説明する数値データの推移 <u> </u>					(うち受益者負担)	千円							
効果説明 (定量及び 定性)  (た) 費用対効果結果 (自動判定)  費用 (R5とR4の一般財源増減) 費用が増加した  効果が上がった指標数 の指標 の指標 効果が上がった指標数 の指標 の対象が表現を確認 の対象が表現を確認 の対象が表現を確認 の対象が表現を使います。	> >				( ) = W( ) = ( = V = ) = W( )	(-t1)				]			
対果説明 (定量及び 定性)  生きがい感じている高齢者の割合は若干増加したが、利用回数、 利用者数が減少傾向にあり、利用団体は1団体のみとなっている。  (5) 費用対効果結果(自動判定) 費用 (R5とR4の一般財源増減) 効果 が実力が上がた。指標数 効果が上がた。 効果が上がた 効果が上がた 効果が上がた 効果が上がた 効果が上がた 効果が上がた 効果が上がた 効果が上がた 効果が上がた	(3)活動	かによる効果						5.4					
効果説明 (定量及び 定性)										34131 1427			
(定量及び 定性) 利用者数が減少傾向にあり、利用団体は1団体のみとなっている。	効果説明	# <b>* *</b> * * * * * * * * * * * * * * * * *	゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚		生きかい感している局齢者の割合	%	/1.2	/3.9	/4.8	値が大きいほど良い	効果が上がった		
(5) 費用対効果結果 (自動判定) 費用 (R5とR4の一般財源増減) 費用が増加した **10万円以上の増減により判断	(定量及71)												
費用 (R5とR4の一般財源増減)       費用が増加した       ※1 0万円以上の増減により判断         効果       効果が上がった指標数	定性)	利用有数从	が成少が見りに	が、利用団体は1団体のみとなりている。									
費用 (R5とR4の一般財源増減)       費用が増加した       ※1 0万円以上の増減により判断         効果       効果が上がった指標数													
費用 (R5とR4の一般財源増減)       費用が増加した       ※1 0万円以上の増減により判断         効果       効果が上がった指標数													
効果 (R5とR4の) 指標数 り指標 の現までありない指標数 り指標 の現までありない指標数 り指標 の現までありない指標数 り指標 のまた の の の の の の の の の の の の の の の の の の					<b></b>						1		
別果は変わらない指標数 0指標					※10万円以上の増減により判断			timici ic t		ALTERIATION A			
(85とR4の 指標値増減) 効果が下がった指標数 り指標					-	弗	費用は下がった	効果か上かった	効果は変わらない	効果かトかった			
4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 佐野市市有施設適正配置計画において、B(統合・複合化)となっており、今後検討が必要。 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組	(R5とR4の		った指標数	0指標			費用の増減無し						
(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 佐野市市有施設適正配置計画において、B(統合・複合化)となっており、今後検討が必要。 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組	指標個場减)		指標全体	効果が上がった	]	Л	費用が増加した	$\cup$					
. ,	(1) 令和	□5年度の雪	事業実施におり			対効果向	1上のための課	題					
. ,													
取組説明	(2) 上記	己反省点及び	/課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		i							
					取組説明								
<ul><li>▼ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)</li><li>事業効果を上げるための事務改善の検討</li><li>事業費の見直し検討</li><li>業務時間効率化のための事務改善の検討</li></ul> ※務時間効率化のための事務改善の検討		事業効果を 事業費の見	と上げるための 見直し検討	事務改善の検討	統合・複合化に向けて検討する	る必要が	ある。						

1 豊かで健やかな長寿社会の実現

事業名	高齢者生	<b>上活路線</b> /	(ス運賃助成事業	実施計画事業or一般事業	— <u>特</u>	股事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし
1. 基本	1. 基本情報									
	部	健康医療部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
	課	いきいき高齢課		高齢者生活路線バス運賃助	予算	款	3	新規or継続	継続	事業
	係	高齢福祉係		成事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的	り事業
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	   佐野市高齢者生活路線バス	3 212	開始年度	平成20年	実施方法	一部	委託
	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり	運賃助成要網		終了年度	-	事業分類	現金等約	合付事業
i	+1-1-1-1-1		曲シオないとしまれるの中で	<b>建具则以女侧</b>	1					

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

事業概要

高齢者が生活路線バスを利用する場合において、その利用に係る運賃の一部を助成することにより高齢者の交通手段を確保し、もって高齢者の福祉の向上を図る ことを目的とする。

(2)目的

(3)目標値

高齢者の移動手段の確保と外出支援を図る。自立した生活を送れ、多様な社会活動に参加できるようにする。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
助成件数	件	17,000	19,000	21,000	23,000	25,000
利用者証交付者数	人	500	550	600	650	700

### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容) (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	活動指標	単位	R3	R4	R5
	助成件数	件	17,512	19,225	21,861
	利用者証交付者数	人	612	566	716
高齢者の移動手段の確保と、外出支援を図るため、70歳以上の					
方に、生活路線バスを利用する際に後期高齢者医療被保険者証 又は利用者証を呈示することで乗車運賃を150円助成した。	事業費計	千円	2,663	2,884	3,279
	一般財源	千円	2,663	2,884	3,279
	特定財源(国·県·他)	千円			
	(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

令和3年度から助成券廃止し、後期高齢者医療保険者証又は助成利用者証の提示により助成回数を無制限としたため、高齢者の移動手段の拡充ができ、助成件数と利用者証交付者数が増加している。また、市民の方に事業の情報周知が進み、目標に近づくことができた。

助	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
מי	助成件数	件	17,512	19,225	21,861	値が大きいほど良い	効果が上がった
0) ][	利用者証交付者数	人	612	566	716	値が大きいほど良い	効果が上がった
10 10							
رر							

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

- 4	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	$\cap$		

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き利便性の高い交通手段の確保や助成額の拡充、利用方法の周知が必要。

保険証のマイナンバーカードへの移行に伴い、後期高齢者医療被保険者証が発行されなくなることから、75歳以上の方も助成を受ける際、利用者証が必要になることを周知 し、申請を促す。

#### (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
<b>V</b>	事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

今年度は保険証がマイナ保険証に移行するため、保険証が発行されなくなる。それに伴い、75歳以上の方へ利用者証申請について周知し、申請を促す。また助成額について見直しを検討する。

未口	局酚省值	畐祉センタ-	-設備改修事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
基本情		健康医療部		予算中事業名		会計	<u>6</u> л	事業計画	単年原	安のみ
組織		にきいき高齢			予算	款		新規or継続		事業
1/11/144		高齢福祉係	νr.	- 高齢者福祉センター設備改修事業	科目	項	1	市単独or国県補助		中華業
	体系コード			根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	任意的	勺事業
体系	基本目標			 ・佐野市高齢者福祉センター		開始年度	令和5年	実施方法	直	営
· PT· ZIN	本本政策3助け合い生きがいを実感できるまちづく施策1豊かで健やかな長寿社会の実現			条例	期間	終了年度		事業分類	施設維持	管理事業
	<b>既要と目的及</b> 能概要	なび(基本計	画期間内)目標値							
概要	高齢者福祉 ・田沼老人	福祉センター浴	期点検時に指摘があった箇所について改修 谷槽ろ過装置改修工事 -空調設備改修工事	を行う。						
)目的				(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
的				老人福祉センター利用者数	人	146,000	84,200	106,300	128,400	150,500
事業に て成し			とにより、利用者が安心して快適に施設を							
げたい	利用できる。	Fフに 9 る。								
態)										
	<b>度の実績(活</b> 助実績 T	<b>舌動及び費用</b>	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ					1	
				活動指標 	単位	R3	R4	R5		
				田沼老人福祉センター利用者数	人	9,565	10,416	12,376		
/-±	•田辺老人;	、福祉センター浴槽ろ過装置改修工事	茂呂山老人福祉センター利用者数	人	37,395	36,850	39,219			
実績			司福马超茲區改修工事 月~令和6年3月							
主な活			-空調設備改修工事	事業費計	千円	0	0	33,168		
容)	工事期間	令和6年2月	~令和6年6月(繰越)	一般財源		0	0	-		
							0	33,100		
				特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数	な値デー	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5		R4とR5の比較
説明		-	利用できるように、早急な対応が必要な	老人福祉センター利用者数	人	56,600	56,908	69,890	値が大きいほど良い	効果が上がった
量及び	個所から改作		類移行に伴い利用者数が回復傾向にあ							
生)	る。	10/ / 1/(0/3								
)費月	日対効果結果	果(自動判定	')							
	とR4の一般		費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
 ]果	効果が上が	った指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
:R4の	効果は変わら 効果が下が		0指標 		費	費用は下がった				
直増減)	77321073 1 73	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した	0			
	きに向けた検	討								
		業実施におい	ける反省点、環境変化や関係者からの意見	等を踏まえた検討課題 費田や	は効果に	51 トのための	)課題			

(2)	上記反省点及び課題を踏まえた、	△和6年度及び△和76	上中の田宮
( 2 )	上記以自以及い誄越を始まんに、	カ州0年及及びカ州/5	干/支 いり取削

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討
<b>✓</b>	特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

# 取組説明

施設の改修しなければいけない箇所については概ね把握できているので、順次対応していく。本 事業は施設の改修事業であるため、費用対効果向上の余地はなく、現状の計画通り実施す る。

事業名高齢者福祉センター等指定管理事業実施計画事業or一般事業一般事業市長公約4-⑥総合戦略該当なし施策横断的な取組との関連性SDGs該当なしコンパクトシティ該当なしスマートシティ該当なし

#### 1. 基本情報

		部	健康医療部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	いきいき高齢課		高齢者福祉センター等指定管理事業	予算	款	3	新規or継続	継続事業
		係	高齢福祉係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業
Ī		体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	義務的事業
	政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	<b>仕野ま立絵字短がわいり 名間</b>	事業	開始年度	昭和47年	実施方法	指定管理者
	IXXX PT/IX	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり		期間	終了年度		事業分類	施設維持管理事業
		施策	1	豊かで健やかな長寿社会の実現					•	•

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

|高齢者福祉の増進を図るため、及び高齢者の社会参加を促進するため、佐野市高齢者福祉センターを設置する。

事業概要

- ・指定管理者 佐野市社会福祉協議会 (株) HSコーポレーション
- ・事業内容 レクリエーションまたは集会のための施設の提供 教養向上のための講演会及び講習会の開催 生活相談、健康相談その他各種相談

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		老人福祉センター利用者数	人	146,000	84,200	106,300	128,400	150,500
(本事業に	おおむね60歳以上の高齢者に生きがいを持って生活してもらうととも							
よって成し 遂げたい	に、多様な社会活動に参加してもらう。							
状態)								
J. 1.31)								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

#### (1)活動実績

#### (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/03	如大慎	(4) 四新で売りする致胆力	7,00	学未貝の	世1ツ	
	  ・施設の管理・運営 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、利用	活動指標	単位	R3	R4	R5
		老人福祉センター利用者数	人	56,600	56,908	69,890
\T #1 \rightarrow	・施設が老朽化しており、修繕箇所が多数存在した。緊急性・必要性から判断し、的確に修繕を行い運営に支障が起きないようにし	60歳以上の高齢者数	人	43,798	43,643	43,480
活動実績 (R5年度に	I.					
	茂呂山老人福祉センター:浴場水栓金具交換修繕、	事業費計	千円	137,636	138,778	138,374
±0, 10 /	ボイラー部品交換修繕 葛生あくと福祉センター:真空温水ヒーター修繕、 浴室天井点検口修繕	一般財源	千円	137,636	138,778	138,374
		特定財源(国·県·他)	千円			
	遠原の里老人福祉センター : 受電設備修繕、エアコン修繕 	(うち受益者負担)	千円			

### (3)活動による効果

# (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		<b>効果指標</b>	甲位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+L CD = ¥ 00	  指定管理者との連携により、利用制限の緩和。	老人福祉センター利用者数	人	56,600	56,908	69,890	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び	適切な修繕を行うことにより、運営に支障を出すことがなかった。							
定性)	以上により、利用者数が回復した。							
~[1]	次工により、利用自数// 国接U/C。							ĺ
							1	1

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果					
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
費	費用は下がった	0					
	費用の増減無し						
用	費用が増加した						

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理者から施設の修繕が必要な個所を随時報告させるようにし、情報共有を図った。 各施設の修繕が必要な箇所においては概ね把握ができたので、次年度以降順次修繕を行っていく。

### (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- ☑ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

#### 取組説明

施設の老朽化に伴い修繕箇所は多いが、高齢者が安心して福祉センターを利用できるように、 指定管理者と連携の上、適宜修繕を行う。本事業において施設維持・修繕が主な市の役割 であるため、費用対効果向上の余地はなく、現状の計画通り実施する。

# 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成·更新日 2024年6月28日

事業名	老人クラ	ブ支援事	業	実施計画事業or一般事業	<b>一</b> 舟	设事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本情	輯					•			•	
	部	健康医療部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
	課	いきいき高齢	課	│ 一 老人クラブ支援事業 │ ‐	予算	款	3	新規or継続	継続	事業
	係	高齢福祉係		でパノジン文版事業	科目	項	1	市単独or国県補助	国県補	助事業
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		Ш	3	義務or任意	任意的	事業
攺策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市老人クラブ等活動支	事業	開始年度	S40	実施方法	直	営
以來件示	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり	援補助金交付要綱	期間	終了年度	ı	事業分類	支援	事業
	施策	1	豊かで健やかな長寿社会の実現	及冊的並又的安啊						

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 シニアクラブを高齢者の社会参加と生きがい活動の推進組織として位置づけ、クラブの活動に対する補助を行う。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		シニアクラブ会員数	人	3,005	3,005	3,005	3,005	3,005
(本事業に	60歳以上の高齢者等がシニアクラブの活動を通じて、仲間づくり、生	シニアクラブ数	クラブ	87	87	87	87	87
よって成し 遂げたい	きがいづくりを行っている。							
状態)								
5								

# 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

	<ul><li>市の活動</li></ul>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		総会の開催回数		1	1	1
V-21/	単位シニアクラブ 81クラブ 計2,766,000円	定例会の開催回数		6	5	6
活動実績 (R5年度に	・シニアクラブの活動					
・ 行った主な活 動内容)	シニアクラブ連合会	事業費計	千円	4,103	4,348	4,116
到(2)台)	総会、定例会、スポーツ大会、作品展、 シニアリーダー研修会、広報誌発行、秀郷まつり(踊り)参加	一般財源	千円	1,849	1,917	2,167
	単位シニアクラブ	特定財源(国·県·他)	千円	2,254	2,431	1,949
	各種スポーツ活動、文化活動の実施、社会奉仕の日参加	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
±1 cm=¥nn	シニアクラブ数、会員数を増やすための活動を行い、新規に1つのク	シニアクラブ会員数	人	3,231	3,005	2,740	値が大きいほど良い	効果が下がった
効果説明	ラブが設立され、会員数を36名増加させた単位シニアクラブがあった	シニアクラブ数	クラブ	91	87	81	値が大きいほど良い	効果が下がった
(定量及び 定性)	が、それを超える休廃止するクラブや体調等の理由により退会する会							
ƌ)	員が出てしまった。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	2指標
指標值増減)	指標全体	効果が下がった

※10万円以上の増減により判断

		効果						
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
費	費用は下がった							
	費用の増減無し							
用	費用が増加した			0				

#### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・高齢者数は年々増加しているが、シニアクラブの組織率は低下しており、単位シニアクラブ数及びクラブ員数とも減少している。

#### (2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
П	業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

# 取組説明

・連合会を通じて各単位シニアクラブに働きかけ、単位シニアクラブにおいて地域の高齢者宅を 訪問するなど、シニアクラブの活動の紹介及びPRを行い、クラブ加入の勧誘を行う。

・市は単位シニアクラブの活動を活発化させ魅力あるものにするるため、受講しやすい各種講座 や教室などの情報を提供していく。

#### 什事の振り返り (今和 5 年帝宝坻公)

<b>事業名</b>	シニア地	域デビュー	推進事業	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	1-①	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり
. 基本情					1	l a = 1			<del></del>	/=/->=·
1 N L / A E / A A	部	健康医療部	===	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
!当組織	孫	いきいき高齢 高齢福祉係		シニア地域デビュー推進事業		<u>款</u> 項		新規or継続 市単独or国県補助	新規	事業 虫事業
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等	竹田	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり	- Fi( 本 ハ 区が因)	車業	開始年度		実施方法		<u>"于来</u> 営
(策体系	政策		助け合い生きがいを実感できるまちづくり	佐野市シニア地域デビュー条		終了年度		事業分類		· <u>□</u> ·事業
	施策 1 豊かで健やかな長寿社会の実現			- 例	743123	小( ) 十/X		子未乃从	<u> П</u> 70	-F-X
(1)事	美概要   		画期間内)目標値 - を推進するため、佐野市シニア地域デビュ-	-条例制定に関する周知活動等	を実施	する。				
`2\	7			(2) 口煙坊						
2)目的		おおおかわ60≒	表以上のシニア世代の市民が、生きがいを ないとのシニア世代の市民が、生きがいを	(3)目標値 効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的			活できる社会を実現する。	シニアクラブ会員数	人	4,300	3,300	_		
本事業に			はずビューに関する理解と関心を深めてい		人	62,500	39,500		•	
さって成し	る。	_, _,,,,				,	, , , , , , ,	, , , , , ,	, , , , , , ,	
遂げたい 状態)	・仕事を退職された方など、時間に余裕ができた高齢者が地域活動									
D (I)E()	や通いの場	等に参加する	機会が増えている。							
. <b>則平</b> 為 1)活動		当割及び負出	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	一タ及び	事業費の抽 R3	발移 R4	R5		
				講演会の開催		_	_	1		
				チラシの全戸配布		_	_	1		
動実績			制定チラシを全世帯に配布	デジタルデバイド対策講習会		_		9		
R 5 年度に った主な活		康いきいき講演 計俊宗氏	現立で 用作					_		
助内容)			策講習会を開催	事業費計	千円	0	0	399		
		<i>,,,,,,</i> ,,,,,,,	N. III CIVILE	一般財源	千円	0	0	69		
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	330		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
2) XI	かによる効果			(4) 東紫林田太説四寸2巻		hの+#1タ				<del></del>
3 / 泊里	別による効果			(4)事業効果を説明する数 効果指標	単位	R3	R4	R5	→選択して 指標の性質	
				シニアクラブ会員数	人	3,231	3,005		値が大きいほど良い	効果が下がつ
果説明			を全世帯に配布し、講演会を開催したこ	ふれあいサロン参加人数	人	40,586				効果が下がっ
定量及び 定性)	とにより、巾。  まった。	氏のシーア世1	弋の地域デビューに関する理解と関心が深							
ÆIT)	よりに。									
5)費用	用対効果結果	果(自動判定	<u> </u>							
開(R5	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上がった指標数			ate	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
R5とR4の	効果が下が	った指標数	2指標		費田	費用の増減無し			0	
標値増減)		指標全体	効果が下がった	J	用	費用が増加した				
VnÆ6	年11二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	-=-+								
	<b>度に向けた検</b> ① 5 年度の3		ナる反省点、環境変化や関係者からの意見	三年 - 1925年 -	付効用は	コトのための	三里語			
( <b>Τ</b> ) ΙΙΔ	uJ 〒/文ツヨ	- <del>木</del> 大ルビ(C0)/	,少人日杰、永光久口;风怀日光少少总为	5.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	·1 WIYN Li		hV/VZ			
				10 T 4 * (+ DD - * )	<del></del>					
ーア世代	の市民が地も	ボデビュー するこ	ことを推進するため、情報提供、きっかけづく	りん(M中間つくNの支援をタードハント	、男かあく	<b>5</b> .				

□ 事業費の見直し検討 □ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

シニア世代の市民が地域デビューできるように

①シニア地域デビュー手引書を作成する。

取組説明

②シニア地域デビュー手引書の概要版等を作成し、周知する

# 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成・更新日 2024年6月28日

工事	טאונכט.	<u> </u>		之一人			1 - 7	W X-1/11	20274	-0/72011
事業名	シルバー	人材センタ	7-支援事業	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
L. 基本信		/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /		7 66 L T 111 6		l o = 1			W <b>-</b> -	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	部	健康医療部		予算中事業名	~ <del>~</del>	会計		事業計画 新規or継続	単年度	
	課 係	いきいき高齢 高齢福祉係		シルバー人材センター支援事業		款 項		市単独or国県補助	継続事業 市単独事業	
	体系コード	331		根拠法令、条例等	170	目	_	義務or任意	義務的	
	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり	老人福祉法	事業	開始年度		実施方法	直	
改策体系	政策		助け合い生きがいを実感できるまちづくり	高年齢者等の雇用の安定等		終了年度		事業分類		
	施策		豊かで健やかな長寿社会の実現	に関する法律		1.22				
2. <b>事業</b> 概 (1)事業		なび(基本計	<b>画期間内)目標値</b>							
⋾業概要	シルバー人フ	材センターの通	ᡚ正な運営と事業の促進を目的として、運営	営費補助金を交付する。						
(2)目的	1			(3)目標値						
· - / 💴	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	<i>/</i> +-mz <del>+</del> > "	//"   ++ L->	カン電台勇強中 <i>へも六十</i> ロートリバート	登録会員数	人	550	550	550	550	550
(十字末に			ター運営費補助金を交付し、シルバー人 で、高齢者等の職業の安定及び福祉の増	生きがい感じている高齢者の割合	%	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
よって成し 遂げたい	進を図る	「又抜りること	で、同即有寺の城来の女正及の価値の追							
状態)	TE CICIO									
<b>3. 前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	`_ <i>5</i> T571	で事業のは	#12			
	大恨				単位	P未良の		R5		
				活動指標	· -	_	R4			
				補助金額	千円	14,000	14,000	14,000		
舌動実績	佐昭古ミ川	バー レオオナフト	ター運営費補助金(運営費、事業費)							
			ソー 建呂貞(福助金 (建呂貞、事業貞) ルバー人材センターの支援を行った。	市╨弗計	τm	14.050	14.050	14.050		
動内容)	CIHIM) TIC	о схшо.	が、人間にクケーの文法を行うた。	事業費計	千円	,	·	14,050		
				一般財源	千円	14,050	14,050	14,050		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明	近年 登録	今昌粉が武/	<b>少傾向であったが、て若干であるが増やすこ</b>	登録会員数	人 %	477 71.2	468 73.9		値が大きいほど良い 値が大きいほど良い	効果が上がった 効果が上がった
(定量及び	とができた。	(五只奴儿顺)	グ傾向にの力にか、し右(このるかもにする)	エミルではのでいる同個に日の出口	70	/1.2	75.9	74.0	IED NEVISCIEV	が来が上がりに
定性)	C/3 CC/C8									
(「) 弗口	2 <del>5 4 5 5 11</del> 9 <del>1</del> 1	B /白毛小川点	=)							
	とR4の一般	果(自動判定 財源増減)	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		2指標	※ 1 07月 1以上の相順により刊画			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
効果	効果は変われ	うない指標数	0指標		費	費用は下がった				
(R3CR40) 旨標値増減)	効果が下が	つた指標致 指標全体	0指標 <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	0			
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 な録会員数を増やすため、周知等を含む新り			可上のための	課題			
(2)上記	2反省点及(	グ課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組							
				取組説明	<u> </u>					
			、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							

事業効果を上げるため、事業者と連携を図りながら、新たな取り組みを検討する。

仕事の振り返りシート (令和 5 年度実施分)										6月28日
事業名	シルバー	ワークプラ		実施計画事業or一般事業	_	-般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	·			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報			•		•				•
	部	健康医療部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度終	燥り返し
担当組織	課	いきいき高齢	課	シルバーワークプラザ等指定管	予算	款	3	新規or継続	継続	事業
	係	高齢福祉係		理事業	科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	義務的	事業
15年44-15	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	  -   佐野市シルバーワークプラザ条	事業	開始年度	平成5年	実施方法	指定管	理者
政策体系	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり		期間	終了年度	ı	事業分類	施設維持領	管理事業
	施策	1	豊かで健やかな長寿社会の実現	- 例、同施行規則						
•	<b>既要と目的及</b> 美概要	とび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要										
(2)目的				(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	健康で働く	能力や音次の	ある高齢者の就業、研修、会議等で活用	生きがい感じている高齢者の割合	%	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
(本事業に				介護予防教室の延べ参加者数	人	7,900	8,100	8,300	8,500	8,700
よりし放し	って成し するシルバーワークプラザを設置することにより高齢者の能力活用及 イスタークラック・ファイスター ファイスター ファイス ファイス ファイス ファイス ファイス ファイス ファイス ファイス							1		

# 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

遂げたいび社会参加を促進する。

(1)活動実績

状態)

活動実績 (R5年度に 行った主な活 動内容)

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

の大将		///	于未只约正沙		
	活動指標	単位	R3	R4	R5
	利用者数	人	1,901	2,195	2,505
	利用回数	回	199	215	231
指定管理者による施設の管理運営を行った。					
シルバー人材センターを指定管理者としている。	事業費計	千円	4,427	4,528	4,591
	一般財源	千円	4,427	4,528	4,591
	特定財源(国·県·他)	千円			
	(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1	4	生きがい感じている高齢者の割合	%	71.2	73.9	74.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
効果説明	生きがいを感じている高齢者の割合が増加し、シルバワークプラザの	介護予防教室の延べ参加者数	人	5,022	6,767	8,074	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び 定性)	利用者も若干増加している。				1	1		
足江)					1	1		
					i I	<u> </u>		

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	2指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった
		_

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

佐野市市有施設適正配置計画において、	B(統合	ì•複合化`	)となっており、	今後検討が	シ 要 い

(2)	ト記 反坐 占ひが運動を効まった	令和6年度及び令和7年度の取組
( ∠ )	上記以自以及い誄越を始まんに、	カ仙0年浸及びカ仙/年浸の以祖

<b>✓</b>	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
	業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

統合・複合化に向けて検討する必要がある。

取組説明

# 仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

作成·更新日 2024年6月28日

事業名	<b>  高齢者ふれあいサロン事業</b>		実施計画事業or一般事業	一般事業		市長公約	4-⑥	総合戦略	該当なし		
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし	
L. 基本情	基本情報										
旦当組織	部	健康医療部		予算中事業名		会計	1	事業計画	単年度	繰り返し	
	課	いきいき高齢	課	→ 高齢者ふれあいサロン半至	予算	款	3	新規or継続	継続	事業	
	係	高齢福祉係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	事業	
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的	的事業	
攺策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市高齢者ふれあいサロン	事業	開始年度	H13	実施方法	一部	委託	
以汞体糸	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり	事業実施要綱	期間	終了年度		事業分類	支援	事業	
	施策	1	豊かで健やかな長寿社会の実現	<b>尹未大</b> ル女們		•		•			
		•	·	•							

#### 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

#### (1) 事業概要

事業概要

高齢者が地域の中でいきいきとした生活ができるよう、高齢者と地域住民が、いきがい、健康づくり及び社会参加を共に促進することにより、高齢者の孤立感や不安 感の解消を図る。

単位老人クラブ等に委託し事業を実施している。

(2)目的

(3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	高齢者が地域の中でいきいきとした生活ができるよう、高齢者と地域	社会と関りをもつ活動をしている高齢者の割合	%	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
(本事業に	住民とが、生きがい・健康づくり及び社会参加を共に促進することに	利用者数	人	62,500	39,500	49,000	58,500	68,000
よって成し 遂げたい	より、高齢者の孤立感や不安感の解消を図り、もって明るい長寿社							
	会の実現を目的とする							
D (Ide)								

#### 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
(R5年度に 行った主な活	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、地域の中でいきいきとした生活ができるよう、誰でも気軽に参加できる場として、老人クラブ等に委託	ふれあいサロン開設数	箇所	71	76	73
		事業費計	千円	3,325	3,692	3,450
		一般財源	千円	1,114	1,169	1,200
		特定財源(国·県·他)	千円	2,211	2,523	2,250
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)
(定量及び
定性)
足注)

利用者数は減少傾向にあるが、社会と関りをもつ活動をしている高 齢者の割合については、増加している。

	<b>郊果指標</b>	甲位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	社会と関りをもつ活動をしている高齢者の割合	%	15.3	15.2	16.6	値が大きいほど良い	効果が上がった
高	利用者数	人	40,586	40,845	40,470	値が大きいほど良い	効果が下がった

#### (5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	1指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し		0	
用	費用が増加した			

### 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

ふれあいサロン開設数が、年々減少傾向にあるため、開設数を増加する必要がある。

#### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在	Eり方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直	<b>፤しなど)</b>
--------	-------	------	-----	------	----------	--------------

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明
------

- ・社会福祉協議会と連携し、サロンが設置されていない町会に働きかけ、サロンの設置を促す。
- ・市はサロンの活動を活発化させ魅力あるものにするるため、受講しやすい各種講座や教室など

の情報を提供していく。

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

作成:更新日 2024年6月28日

上尹	ロノカルなり	ルベック	アート(中和3年反	(大)他力)			117	成・史 和口	20244	F6月28日
業名	田之入都	と人福祉t	2ンターPCB廃棄物処理事業	実施計画事業or一般事業		投事業		該当なし		
#	<b></b>			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
. 基本情	部	健康医療部	3	予算中事業名		会計	1	事業計画	期間限定	複数年度
	課	いきいき高齢		田之入老人福祉センターPCB	予算	款		新規or継続		事業
	係高齢福祉係		廃棄物処理事業費	科目	項	1	市単独or国県補助		虫事業	
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	4	義務or任意	義務的	内事業
放策体系	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適		開始年度		実施方法		
	政策		助け合い生きがいを実感できるまちづくり	正な処理の推進に関する特別は	期間	終了年度	R5	事業分類	施設維持	管理事業
		<u> </u>	豊かで健やかな長寿社会の実現   <b>画期間内)目標値</b>	別措置法(PCB 特措法)						
業概要	田之入老人	人福祉センター	)一つであるPCB廃棄物については、法律に。 -で稼働している変圧器及び遮断機について 分を実施する。						こ更新工事	を実施し、
(2)目的	5			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	特別管理層	産業廃棄物の	)一つであるPCB廃棄物について、PCB混	PCB廃棄物運搬·処理	件	0	0	1	0	0
本事業によって成し	入機器の選	『搬・処分を行	<u>-</u>					<u> </u>		
遂げたい										
状態)										
。 <b>前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	月対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ					1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5	ļ	
				PCB廃棄物運搬·処理	件	0	0	1		
活動実績 市全体としてスケジュールを決めており、令和4年度に機器の撤去・ R5年度に 更新工事を行い、令和5年度に運搬・処分をした。		事業費計	千円	0	0	496				
動内容)				2 1112 121					Ą	
				一般財源	千円	0				
				特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(3)活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	でイング かいかい かいかい かいかい かいしょう かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ かいしょ	か推移			- ↓選択して	て下さい
(0) /112	31201079371			効果指標	単位	R3	R4	R5		
+ EEE = 14 TO				PCB廃棄物運搬·処理	件	0	0	1	値が大きいほど良い	効果が上がった
加果説明 定量及び		かを処分したこ	ことで、施設を安心・安全に運用することがで							
定性)	きた。									
		果(自動判定	-	1				41.00		1
	とR4の一般 効果が上が		費用が増加した 1指標	※10万円以上の増減により判断 			効果が上がった	効果	効果が下がった	
効果	効果は変われ	うない指標数	0指標		費	費用は下がった	刈未が上がうに	刈木は交わりない	刈米ルトルンに	
(R5とR4の 『標値増減)	効果が下が	らた指標数 指標全体	<u>0指標</u> <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し				
(1) 令和		<b>計</b> 事業実施にお	が来る エルッと ける反省点、環境変化や関係者からの意見 :搬・処分を行った。	男等を踏まえた検討課題、費用対	対効果に		課題			
	事業の在り	方検討 (廃止	えた、令和6年度及び令和7年度の取組 こ、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
_	事業効果を事業費の見		事務改善の検討	スケジュールどおり、PCB混入機	器を運	般・処分した	こため、これ	以上の対応	ぶはない。	

仕事	の振り	返りシ	/ート(令和 5 年度	実施分)			作	成·更新日	2024	年8月5日
事業名	福祉有價	當選送事業	<b>運営協議会運営事業</b>	実施計画事業or一般事業		 般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
于木口	一番につい		(左口   M		SDGs				スマートシティ	該当なし
1 . 基本情	書報			地外域的である大道での民産工	0000	HX _1.6.0		IX J.& U	X( 12)1	I HX II I I I
	部	健康医療部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織			福祉有償運送事業運営協議	予算	款		新規or継続		事業	
	係介護サービス係		会運営事業	科目	項	1	市単独or国票補助	市単独	虫事業	
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	義務的	的事業
功效从五	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業	開始年度	H27	実施方法	直	営
政策体系	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり	福祉有償運送運営協議会設置 要綱、道路運送法	期間	終了年度	-	事業分類	許認可:	審査事務
	施策	1	豊かで健やかな長寿社会の実現	女綱、坦路建区広		•				
2.事業相(1)事業事業概要	養概要      福祉有償還	重送事業の必	画期間内)目標値 要性や当該事業を行う場合に旅客から収受 は、福祉有償運送事業者に対してその旨を記		 運送のi	適正な運営	を確保する	ため福祉有	· 「償運送協詞	 議会を開
(2)目的	<del>।                                      </del>			(3)目標値						
( - )	<u>,                                      </u>			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				協議が調った件数/申請件数	%	100	100	100		
(本事業に	++ • •= •	ナ偽であったで	<b>立てにて光されてして回て</b>							
よって成し 遂げたい	市内の偏仙 	「有償連送かり	適正に運営されるよう図る。							
状態)										
1, (12.1)										
(1)活動 活動実績		月30日開催		(2)活動を説明する数値デ 活動指標 協議会開催回数	<b>-</b> 夕及び 単位 回	ド事業費の担 R3 2	R4	R5		
(R 5 年度に 行った主な活		賞運送旅客事	業者の指定更新について協議をした(更新	車₩毒≒	T III	0	0	4.5	1	
動内容)	2件)。			事業費計	千円	0	0	15	ļ	
				一般財源	千円	0	0	15		
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
( 2 ) 7 =							ı		J	
(3)沽動	かによる効果 T			(4)事業効果を説明する数			D4	DE	選択して	1
				効果指標 効果指標 協議が調った件数/申請件数	単位 %	R3 100	R4 100	R5	指標の性質 値が大きいほど良い	R4とR5の比較 効果は変わらない
効果説明				一切成分の プロースメート 明 一大 女	70	100	100	100	E//Yeviackvi	刈来は交わらない
(定量及び	市内の福祉	有償運送が	<b>適正に運営された。</b>							
定性)										
	- >   >						ı	1	1	
		果(自動判定		1 T. T. I I				***		1
_	とR4の一般 効果が上が		費用の増減無し 0指標	10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果	効果が下がった	ł
効果	効果は変わ		1指標		費	費用は下がった	対米が上がりに	刈木は交わりない	XIXII'   1 II / II	
(R5とR4の 指標値増減)	効果が下が	った指標数	0指標		用	費用の増減無し		0		]
3日1水(巴·日/水)		指標全体	効果は変わらない		, 13	費用が増加した				ı
	<b>度に向けた検</b>		ナる反省点、環境変化や関係者からの意見	筆を吹きるたね計画館 夢田さ	协里点	1 <b>⊢</b> のための	≐里 旦百			
( I ) ¬	ョッ 十戌の引	未天心にの	アミス 日本、成児女 10 と対は日からの息兄	, 寸で頃あんに採削 林越、夏州光	ᇌᅓᇿ	<u>, T ∧) (C</u> 0) ()	水超			
地域の他の	移動手段と	の連携が必要	である。							

	( 2		2	) 上記反省点及び課題を踏まえた、	令和6年度及び令和7年度の取	組
--	-----	--	---	-------------------	----------------	---

П	事業の在り方格討	( 廢止	休止	再编成	受益者負担の見直しなど)	
1 1	尹未い1エリカ1次引	(発皿、	1/1	丹細观、	文盆有貝担の兄且しな()	

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

更新申請のための書類作成が適正に行われた。

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成・更新日 2024年12月13日										
事業名	敬老会開	<b>引催支援</b> 事	業	実施計画事業or一般事業	実施	計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	l .			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	青報			,					•	
	部	健康医療部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度終	
担当組織	課	いきいき高齢	F1:	   敬老会開催支援事業費	予算	款	3	新規or継続	継続	
	係	高齢福祉係			科目	項	1	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的	事業
政策体系	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり		事業	開始年度	H17	実施方法	直	営
以來件示	政策	3	助け合い生きがいを実感できるまちづくり	老人福祉法	期間	終了年度		事業分類	支援	事業
	施策	1	豊かで健やかな長寿社会の実現							
<b>2. 事業</b> 概 (1)事業	美概要 		画期間内)目標値							
事業概要	で9月~10		念品を配布してねぎらうとともに、敬老会の 民館、小学校、コミュニティ施設等で開催す	- შა	或住民(	- 対して敬老 	精神の高ま	湯を凶る。 句	を受は、地 	四区単位
(2)目的	) J			(3)目標値	単位	D2	D.4	סר	DC	D.7
目的				効果指標 生きがい感じている高齢者の割合	単位 %	R3 75.0	R4 75.0	R5 75.0	R6 75.0	R7 75.0
	高齢者の長	寿を祝い、記	<b>!念品を配布してねぎらうとともに、敬老会の</b>	エさが、感じている向か自り割口	70	73.0	73.0	/3.0	73.0	/3.0
よって成し	実施団体を	支援すること	で、地域住民に対して敬老精神の高揚を							
	図る。									
状態)										
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				対象敬老会実施団体数	団体	22	22	22		
	式典の開催	<b>崖について、令</b>	和5年度は感染リスクの高い高齢者を集会							
	させる形式(	こついては、敬	遠したい意向もあると想定し、画一的に式							
(R5年度に	典を開催す	るのではなく、	各実行委員会等の任意とした。							

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		対象敬老会実施団体数	団体	22	22	22
ンナストールナ	式典の開催について、令和5年度は感染リスクの高い高齢者を集会					
/DF左座に	一曲を開催するのではなく、各実行委員会等の任意とした。					
行った主な活		事業費計	千円	10,130	10,590	10,982
到(2)		一般財源	千円	10,130	10,590	10,982
		特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		<b>郊</b> 果指標	単位	K3	K4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明 (定量及び 定性)	<u></u>	生きがい感じている高齢者の割合	%	71.2	73.9	74.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
	若干であるが、生きがいを持もって生活をしている高齢者の割合が増							
	加傾向にある。							
ÆIL)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

取組説明

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した	0		

# 4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度から所管課が生涯学習課からいきいき高齢課に移管された。

慶祝事業は業務改善計画に伴い、段階的に縮小・廃止等見直しを行ってきた経緯があるため、敬老会開催事業についても同様に、見直しが必要である。

(2)	ト記点少占及が無額を効まった	令和6年度及び令和7年度の取締
( Z )	上記以自以及い誄越を始まんに、	カ州0年浸及いカ州/平浸の城市

<b>~</b>	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
	事業効果を上げるための事務改善の検討
	事業費の見直し検討
$\Box$	業務時間効率化のための事務改善の検討

実施主体に対し、アンケート調査を行い、令和7年度以降の敬老会事業の在り方を検討する。

$\neg$	特に検討事項無し	(現状維持マは現状の計画通り)

<b>3</b> 坐 ク	おおるロ	8/出事**		中长1.天主光 40.主光	一般事業		+ F / **	=ナハノコ・1	6/\ ∧ \\\\n=	=#-1/1/1
業名	敬老会開	間惟事業		実施計画事業or一般事業					総合戦略	該当な
基本情	±#C			施策横断的な取組との関連性	SDGS	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当な
	部	健康医療部		予算中事業名		会計	1	事業計画	単年度	給いた」
当組織	課	いきいき高齢		」、异个尹未石	予算	款		新規or継続		事業
二市旦市政	係	高齢福祉係	<b>p</b> 木	敬老会開催事業	科目	項	<u></u>	市単独or国県補助		<del>字术</del> 虫事業
	体系コード	331	名称	根拠法令、条例等	171	目	3	義務or任意		3字来 勺事業
	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり	TOTAL MAIN	車業	開始年度		実施方法	直	
策体系	政策		助け合い生きがいを実感できるまちづくり	! 老人福祉法		終了年度	1117		イベント等	
	施策		豊かで健やかな長寿社会の実現	七八個仙丛	州川山	於丁牛反		尹未刀叔	1ハンド寺	用准尹
. <b>事業</b> 相 1)事第 業概要	美概要 高齢者の長	寿を祝い、記	画期間内)目標値 急品を配布してねぎらうとともに、敬老会の		或住民に	対して敬老	精神の高技	昜を図る。 苟	女老会は、1	也区単位
	`	月にかけて公	民館、小学校、コミュニティ施設等で開催す							
2)目的	<u> </u>			(3)目標値	33771					
日的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 k事業に	高齢者の長	寿を祝い、記	念品を配布してねぎらうとともに、敬老会の	生きがい感じている高齢者の割合	%	75.0	75.0	75.0	75.0	75
って成し			で、地域住民に対して敬老精神の高揚を							
<b>並</b> げたい	図る。									
状態)										
<b>前年</b> 度 1)活動		5動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	ータ及び 単位	事業費の担 R3	<u>ŧ</u> 移	R5		
	式典の開催について、令和5年度は感染リスクの高い高齢者を集会させる形式については、敬遠したい意向もあると想定し、画一的に式典を開催するのではなく、各実行委員会等の任意とした。 式典開催とは別に、記念品の配布を実施した。			対象敬老会実施団体数	団体	22	22	22		
動実績 5年度に										
た主な活				事業費計	千円	1,013	1,186	807		
)内容)				机归北百	千円	1.012	1 106	907		
				一般財源		1,013	1,186	807		
				特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
 3 )活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数	(値デーク	の推移			↓選択して	て下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5のJ
- V - D				生きがい感じている高齢者の割合	%	71.2	73.9	74.8	値が大きいほど良い	効果が上が
果説明	若干である	が、生きがいを	持もって生活をしている高齢者の割合が増							
E量及び 定性)	加傾向にあ	る。								
~=1=)										
5)費用	月対効果結果	艮(自動判定	<u>=</u> )							
用(R5	とR4の一般	財源増減)	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
.5とR4の	効果は変わらない指標数     0指標       効果が下がった指標数     0指標				費	費用は下がった	$\mathcal{O}$			
票值増減)	γυ⊅ <u>κυ,</u> Ι. Ω.	指標全体	効果が上がった		用	費用が増加した				
		 ■業実施におり	ナる反省点、環境変化や関係者からの意見 まからいきいき高齢課に移管された。	3等を踏まえた検討課題、費用文	対効果に	可上のための	課題			
75年度	ハウトルロ語	ハナルエー・コー	たいりいろいろ同様は水のヒスイル・							

<b>✓</b>	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	
	事業効果を上げるための事務改善の検討	
П	事業費の見直し検討	

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

実施主体に対し、アンケート調査を行い、令和7年度以降の敬老会事業の在り方を検討する。

作成•更新日 2024年12月13日

1上于	リノがバ	ルベリン	/一ト(7443年度	2天心力)			1 F.A	戏•史和口	20244	12月13日
事業名	敬老祝金	.贈呈事第	Ě	実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			-	施策横断的な取組との関連性			コンパクトシティ	該当なし		該当なし
L. 基本情										
	部 健康医療部			予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
	課 係	いきいき高齢		敬老祝金贈呈事業	予算		~	新規or継続	継続	
	係     高齢福祉係       体系コード     331			根拠法令、条例等	科目	項 目	3	市単独or国県補助 義務or任意	市単独任意的	
	基本目標		健やかで元気に暮らせるまちづくり	(本)	車業	開始年度		実施方法	在思 直	
内击体为	政策		助け合い生きがいを実感できるまちづくり	 佐野市敬老祝金条例		終了年度	ПZ	事業分類	支援	
	施策		豊かで健やかな長寿社会の実現	在到10%区/600不/0	MILL	心了十尺		尹未刀叔	又]友	尹未
2. 事業概 (1)事業 事業概要	美概要 長寿を祝福	し敬老の意を	画期間内)目標値 表するため、88歳及び100歳の方に	放老祝金を贈呈する。						
		方には、慶初	記事業として、慶祝状、記念品を贈呈する。 							
(2)目的	5			(3)目標値	1144					
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
(本事業に	老人に対し	、その長寿を花	祝福し、敬老の意を表するため、敬老祝金	生きがい感じている高齢者の割合	%	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
	や慶祝状等	を贈呈するこ	とにより、老人福祉の向上を図ることを目							
	的とする。									
状態)										
<b>3. 前年度</b> (1)活動		舌動及び費用	]対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	, p. 7.7	では、	# <i>19</i>			
(1)/口当	人人恨							DE	I	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				敬老祝金の贈呈者数	人	742	686	778		
舌動実績 8				慶祝状等の贈呈者数	人	36	37	37		
	88歳及び100歳の方を対象とし、年齢に応じた敬老祝金を贈呈した。 100歳の方については対象者宅を訪問し、慶祝状等を贈呈した。									
R5年度に テった主な活				事業費計	千円	10 101	17 170	18,973	ĺ	
動内容)				2 1112 121		18,191		-	•	
				一般財源	千円	18,191	17,170	18,973		
				特定財源(国·県·他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
									i 	
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数				5-	↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
効果説明	ギエズち 2・	が <i>仕</i> ±がいた	・持もって生活をしている高齢者の割合が増	生きがい感じている高齢者の割合	%	71.2	73.9	74.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
(定量及び	加傾向にあ		はのりて土石をひている同梱名の引口が名							
定性)	NI IMIPICO)	۵0								
/ c \ 弗口	9.54.55 EP.4±5	果(自動判定	=)			•		-		
	とR4の一般		費用が増加した	  ※10万円以上の増減により判断				効果		
	効果が上が		1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	効果は変わり	らない指標数	0指標		費	費用は下がった				
(RJCR46) 旨標值増減)	効果が下が	った指標数 指標全体	<u>0指標</u> <b>効果が上がった</b>		用	費用の増減無し	$\overline{}$			
(1)令和		■業実施にお は	ける反省点、環境変化や関係者からの意見中、他の敬老事業と併せて、その在り方を長			可上のための	)課題			
(2) 上記	2反省点及で	が課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	<ul> <li>▼ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)</li> <li>事業効果を上げるための事務改善の検討</li> <li>事業費の見直し検討</li> <li>業務時間効率化のための事務改善の検討</li> <li>特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)</li> </ul>									